

令和6年度 公立紀南病院組合経営強化プランの点検・評価

1、点検・評価

令和5年度に、経営計画(収支計画)の最終年度を令和9年度と位置づけ、「地域医療構想を踏まえた役割・機能の最適化と連携の強化」、「医師・看護師等の確保と働き方改革」、「経営形態の見直し」、「新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組」、「施設・設備の最適化」、「経営の効率化」という6つの視点を基本柱としてプランを策定した。「地域医療構想を踏まえた役割・機能の最適化と連携の強化」については、和歌山県の地域医療構想等を踏まえつつ、紀南地域の中核病院として今後も当地域の医療の発展に貢献していかなければならない立場であることから、従来どおり急性期医療・高度急性期医療を担いながら、地域の医療機関との連携をより強化していく。また、「医師・看護師等の確保と働き方改革」については、他職種へのタスクシフト/シェアを推進し、医師の負担軽減を図るとともに、医師および看護師等の確保について取り組みを進めていく。

令和5年度決算においては、人口減少や少子高齢化などの医療需要の変化等により入院患者数がコロナ前の水準にまで回復しない中、物価や賃金上昇などにより経常経費が増加し、医業損益は赤字となったが、新型コロナウイルス病床確保料などの補助金収入により、経常損益では計画を上回る経常黒字を達成した。しかしながら、引き続き経常黒字を継続していくためには、更なる収入の確保や経費の削減など、より効率的な経営に努める必要がある。

2、令和5年度収支実績調書

(単位:百万円、%)

項目	令和5年度 計画値	令和5年度 実績値	増減	実績が計画より後退した場合はその理由	
医業収益	11,489	11,526	37	主に入院収益(+7)および外来収益(+27)の増による。	
経常収益(A)	13,212	13,288	76	上記医業収益の増(+37)および医業外収益の増(+39)(主に補助金収入(+27)および長期前受金戻入(+9))による。	
医業費用	12,469	12,431	△ 38	主に給与費の減(△36)による。	
うち職員給与費	6,235	6,199	△ 36		
うち材料費	3,836	3,820	△ 16		
うち減価償却費	494	484	△ 10		
経常費用(B)	13,195	13,207	12	上記医業費用の減(△38)および医業外費用の増(+50)(主に雑支出)による。	
経常損益(A-B)	17	81	64	上記医業収益および医業外収益の増による。	
単年度資金収支額	△ 18	△ 33	△ 15	流動資産(預金・未収金等)が計画より増加(+97)するも、流動負債(未払金等)も増加(+112)となったことによる。 (97-112=△15)	
地財法施行令第19条第1項により算定した資金の不足額解消年度	—	—			
地方財政法施行令第19条第1項により算定した資金の不足額	—	—			
地財法による資金不足比率	—	—			
経常収支比率	100.1	100.6	0.5	医業収益および医業外収益の増による。	
医業収支比率	92.1	92.9	0.8	医業収益の増による。	
修正医業収支比率	91.6	92.4	0.8	医業収益の増による。	
病床利用率(実働)	68.8	69.6	0.8	入院患者数の増による。	
一般会計 からの繰 入金	収益的収支	(38) 828	(38) 828	(0) 0	
	資本的収支	(68) 533	(68) 533	(0) 0	
	合計	(106) 1,361	(106) 1,361	(0) 0	

()内はうち基準外繰入金額